

分科会 19

みんなで考える！ これからのデイケア

～リカバリーのために精神科デイケアができること～

出演者： 佐竹直子（国立精神・神経医療研究センター）
中田健士・鈴木江一（株式会社 MARS）
池田直矢（恩田第2病院心理室）
佐藤由美子（SHARE 普及推進委員会）
企画： 種田綾乃（神奈川県立保健福祉大学）
久永文恵（認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構・コンボ）

1. はじめに・話題提供

企画者より、本分科会の趣旨説明として、本分科会は「精神科デイケア」に焦点をあて、よりよいデイケアに向けた「改革」の一步を考えることを目的とすることを共有しました。

また、話題提供として、2018年度リカバリーフォーラムのデイケアに関する分科会にて、グループワークから生まれた「魅力的なデイケア」に関する要素等を紹介しました。

2. さまざまな現場・立場からの「デイケア改革」の実践・経験の報告

1) 国府台病院デイケアのリフォームを振り返る—リカバリーに役立つデイケアへの挑戦（佐竹直子氏）

わが国におけるデイケアの定義や位置づけ・機能等について整理いただいた上で、国府台病院デイケアにて、「居場所の提供」から「利用者が望む生活の実現（リカバリー）を目指す」デイケアへとリフォームを行った経験をご報告いただきました。利用期限の設定や個別担当制とケアマネジメントの導入、プログラム内容の再編を軸とし、「革命」に近い大幅なシステムの「改革」を行い、利用者本人の主体的な参加や地域の福祉サービスや就労へのつながりが促進した過程やその中で大切にしてきたこと等をお話いただきました。

2) ひだクリニックのデイケアと福祉サービスとの連携とピアサポート（中田健士氏・鈴木江一氏）

ひだクリニックのデイケアにおいて、プログラムビュッフェ形式で多様なプログラムが行われている様子や、その中でピアスタッフの働きについて紹介いただきました。さらに、デイケアだけでは対応できない障壁を前に、福祉サービスとの連携を充実させたり、ピアサポート・ピアスタッフの力を活用し、メンバーの個々のリカバリーを応援するシステムへと「改革」が行われてきた過程や、その中で大切にしてきたこと等をお話いただきました。

3) 「デイケア改革」と受け継いでいきたいこと（池田直矢氏）

これまでの様々なデイケアでのご経験をふまえながら、デイケアが「変わること（改革）」と共に「デイケアに受け継いできたもの」にも焦点を当てデイケアの大切な要素や強みを整理いただきました。その上で現在、恩田第2病院にて、「居場所」としての大切な要素を受け継ぎながら、「通過型」としての大切な要素を取り入れ、デイケア改革を進めていこうとしているようすやその中で大切にしていきたいこと・思い等をお話いただきました。

3. グループワーク・全体共有

「デイケア改革のためのはじめの一步 明日からできることを考えよう！」をテーマに、5人程度の小グループに分かれグループワークを行いました。

ワーク①として、「デイケア改革における障壁」について、グループごとに付箋を用いて状況を分かちあい

リハビリ全国フォーラム2019 開催レポート

<https://www.comhbo.net>

革への一歩であり、本分科会にて「改革」をテーマに向き合った時間も、きっと明日につながる一歩でもあることを感じます。

本分科会にご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。そして、出演者の皆様や、本分科会にあたりサポートいただきました皆様にも深く感謝いたします。

《種田綾乃（神奈川県立保健福祉大学）》